

基本の整理

第16回

(1) 子どもの人数を□人とする。

あめの個数

6×□

4×□ 10個

4個

2×□ 14個

2×□ = 14

□ = 14 ÷ 2 = 7 (人)

あめの個数は

$6 \times 7 - 4 = 38$ (個)

7 38

(別解)

4個

10個

□

Pの個数

2個 14 □ = 14 ÷ 2 = 7 (人)

(差集めの考え)

同じ人数に 6個 配ると 4個 不足

4個 配ると 10個 余裕

10 余裕

14個 の差

AとBでは 14個

$6 - 4 = 2$ 個差が出る。

14個差が出るのは何人のときか?

$14 \div 2 = 7$ (人)

(2)

12個入らない。

↓

12個あまった。

6個が

空の箱が2箱できた。

↓

もしつめたら、 $8 \times 2 = 16$ (個)

足りなかった。

8個が

つめる。

12 足り

16 不足

28の差

1箱につめる個数の差

$8 - 6 = 2$ 個

28の差ができるのは

$28 \div 2 = 14$ (箱)

ボールの個数は

$6 \times 14 + 12 = 96$ (個)

96

(図示おと(箱の個数と□とおと))

ボールの個数

6×□

8×□

12個

16

28

2×□

2×□ = 28

□ = 14 (箱)

(3)

りんごとみかんを12個ずつ買ったとすると、代金の差は $70 \times 12 = 840$ (円)

持ったお金

400円

1×12

2×12

440円

840円

280円

2×14

440 - 280 = 160円

みかん

みかん

みかん

みかん $2 \times 2 = 160$

みかん $みかん = 160 \div 2 = 80$ (円) ... みかんの値段

りんご (1個の値段は $80 + 70 = 150$ (円))

したがって持ったお金は $150 \times 12 - 400 = 1400$ (円)

1400